

— 木・土・竹 自然素材を活用した 木造軸組住宅の提案とその利用 —

プログラム

進行係：師岡敏朗 (RISH) (以下 RISH とは生存圏研究所の意味)

10:30-10:40 [開催挨拶] 松本 紘 (RISH 所長)

10:40-11:00 [木質材料実験棟の全国共同利用化に向けての動き] 小松幸平 (RISH)

[研究発表 I]

11:00-11:20 自然素材耐力壁の性能・直交壁の役割：森拓郎 (RISH)

11:20-11:40 木質接合具の開発とその応用：井上雅文 (東大アジア生物資源環境研究センター)

11:40-12:00 自然素材活用型木造軸組住宅の限界耐力設計：小松幸平 (RISH)

12:00-13:00 [昼食]

[招待講演]

13:00-14:00 持続的森林資源と木質構築物：有馬孝礼 (宮崎県木材利用技術センター長)

キーワード：木造軸組み住宅、人間生活圏、持続的森林資源、地域材、
人類の生存圏

[研究発表 II]

14:00-14:20 自然素材活用型木造軸組住宅の建築：片岡靖夫 (中部大学、建築学科)

14:20-14:40 CCA 処理廃棄木材の無害化への取り組み：畑 俊充・今村祐嗣 (RISH)

14:40-15:00 木造住宅とユビキタス電源：篠原直毅 (RISH)

[Tea time]

15:00-15:20 木橋～階段周辺

[総合討論]

15:20-17:20 キーワード：持続的資源循環、木造住宅の住環境、材料開発、自然素材。

話題提供：矢野浩之 (RISH), 今村祐嗣 (RISH), 神谷文夫 (森林総研),
飯島泰男 (秋田県大木高研)、梅村研二 (RISH)

コーディネーター：川井秀一 (RISH)

[閉会挨拶]

17:20-17:30 森 拓郎 (RISH)

[情報交換会]

17:45-19:00 希望者のみ (有料) 木質ホール3F会議室

開催時期 平成17年2月15日 (火曜日)

開催場所 京大大学生存圏研究所 木質ホール3F大セミナー室

交通機関 JR 奈良線黄檗駅下車 (普通電車のみ) 徒歩10分

入場無料 シンポジウム資料を無料配布いたします。予約の必要はありません。